

浮沈式生簀養殖試験調査

杉山昭博

目的

魚類養殖を行うためには生簀を浮かべるための平穏な海域が必要であるが、本県の海岸線で適当な所は少ない。そこで、沖合いの水深20~30mの所に浮沈式の生簀を設置し、給餌等の作業時には浮上させ、荒天時には中層域で波浪の影響をほとんど受けない状態で魚を飼育できる生簀が考案されたので、飼育試験を行った。

方法等

定期的にサンプリングして成長を調査した。

結果

表1 マダイ成長試験

調査月日	場所	調査尾数	平均体重 (g)	平均尾叉長 (cm)
5月19日	知念	10	960±294	35.9±3.7
5月24日	読谷	10	1,088±128	38.1±1.4
10月19日	知念	6	788±270	33.5±3.5
10月21日	読谷	10	940±141	35.7±1.7

表2 ハマフエフキ成長試験

調査月日	場所	調査尾数	平均体重 (g)	平均尾叉長 (cm)
5月19日	知念	10	807±251	34.3±3.0
5月24日	読谷	10	1,292±259	39.9±2.4
10月19日	知念	10	754±269	34.2±3.8
10月21日	読谷	10	902±390	35.7±4.2
2月3日	知念	10	1,052±245	37.8±2.6